

本時の学習

(1) 本時のねらい

- 5つの音で、せんりつをつくる
 - 5音音階の日本らしい旋律を感じとって表現する

(2) 学習指導要領上の位置付け

- 音楽 [第4学年]
 - A表現 (3)

(3) 本時の展開

○主な学習活動	・指導・支援 ※資料 ★評価
○本時のめあてをつかむ。(5分) ・ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 5つの音で、せんりつをつくろう </div>	・プログラミングゼミを起動し、「くみたてよう > がっこう > おんがく > 5つの音でせんりつ」を開く
○5つの音とリズムを使って、4分の4拍子で2小節の旋律を、各自2つ作る(10分) ・最後は「ラ」か「レ」で終わるようにする ○2人組になり、それぞれが作った旋律をつなげて、まとまりのある8小節の旋律をつくる(10分) ○いくつかのグループに前で発表してもらい、感想を伝えあう(10分)	・プログラミングの作品では、旋律を入れるキャラクターが2つあるので、1つのキャラクターではスタートしたら7回音をならし、もう1つのキャラクターではスタートしたら8拍休んでから7回音をならすとよい。 ・上がっていく、下がっていく、上って下がるなど、旋律の動きをある程度決めてから活動を始めるとよい。 ・2つの旋律が視覚化されるので、動きを目と耳で確認しながら、試行錯誤する。 ・どうしてその順番に旋律をつなげたのか、理由をワークシートなどに記入する。 ・旋律の音が終わる感じか、続く感じなのか、音の動きが上がり下がりすることから考える。
○気づいたこと、ふりかえりを発表する。(5分)	★旋律の反復や変化によって生まれる音楽のよさや面白さを感じとりながら、まとまりを意識して旋律をつくっている。 ★プログラミングを生かして試行錯誤している。